



平成 27 年度 IYEO チャレンジ・ファンド助成事業

## 第 2 回

# 自然体験親子キャンプ

自然体験親子キャンプ実行委員会

平成 26 年 10 月の「第 1 回自然体験親子キャンプ」に続き、平成 27 年 9 月 26 日～27 日に茨城県立中央青年の家（茨城県土浦市）にて「第 2 回自然体験親子キャンプ」（主催：自然体験親子キャンプ実行委員会）を開催しました。参加者は総勢 49 名（親子参加家族 10 組 26 名、ボランティアリーダー 23 名）。内閣府の海外派遣青年（日本青年国際交流機構会員）と SYD いばらきの青年リーダーが中心となつて、プログラムの企画、会場手配等事前準備を実施しました。

「異文化理解」を大テーマとし、手洗いの大切さを伝えるハンドウォッシュダンスや、様々な国の料理を体験する野外炊事のほか、キャンプファイヤー、テント設営（テント泊）等、日常生活とは異なる体験を通して親子の絆をより深めるとともに、大自然の中で野外活動の楽しさを満喫した 2 日間となりました。また、外国人参加者との交流を通じて、世界を身近に感じて国際交流の魅力に触れられる機会となりました。

途中雨に見舞われ、プログラムの実施が危ぶまれましたが、自然や普段接する機会が少ない大人との関わりを通じて、子どもたちにも変化があったように感じています。



### 【参加者の感想】

子供たちの純粋さに感動し、保護者の方々のお力に動かされ、様々な面で勉強させていただいた二日間でした。今回の村（班）には 1 歳の子供と 11 歳で子供たちの中で最年長のキャンプのプロがいたため、前日までどんなことしたら二人が純粋に楽しんでくれるかを必死で考えていました。しかし、終わってみると考えていたことが馬鹿らしくなるくらい、自分が楽しんでいました、子供たちも自然と笑顔になっていました。最初は、目も合わせず、口も開いてくれなかった子供もだんだん開いてくれて、自分から話してくるようになったことも感動しました。（大学 4 年生、ボランティアリーダー）

上の子は人見知りなところがあり、また虫が苦手なのでキャンプはどうかと思っておりましたが、二日間楽しんで帰ってこられました。また今回は、母親と離れてテントで寝られたことはすごい成長だと感じました。色々な方たちと共に協力してキャンプをする楽しさや家族の新しい一面などを見られて参加して良かったと思います。（一般、保護者）

自然という非日常の中で行われたキャンプは日常では得ることができないたくさんのお会いや学びがありました。2 日間という短い時間で子どもたちが変化していく姿を見ることができ大変嬉しく思いました。人見知りしていた子も時間が経つにつれ積極的に周りコミュニケーションをとろうと頑張っていた姿、大人たちを見て自分たちにできることは何かを探していた姿などとても印象に残っています。また、時間や規則を守る大切さを自然の中で楽しみながら考えて学べた点は非常に良かったと思います。純粋で正直な子どもたち、頻りに手伝えることはないか聞いて下さった親御さん、そして実行委員みなで協力し「全員が参加者」という一つのキャンプを創り上げることができたと思います。（社会人、プログラム・リーダー）

### 【日程】

9 月 26 日(土)	9 月 27 日(日)
10:30 現地(茨城県立中央青年の家)着	6:00 起床
11:00 開会式・アイスブレイク	6:30 朝の集い
11:45 昼食(村毎に)・午睡	7:00 野外炊事・朝食
12:30 テント設営	(朝食後テント撤収、美化活動)
14:00 スタンプラリー	9:00 村別活動
～世界を身近に感じよう～	(ハイキング、ザリガニ釣り、クラフト等)
15:30 野外炊事・夕食	11:20 閉会式・集合写真
～世界の料理を作ってみよう!～	12:00 現地解散・バス出発
(生春巻き、ミネストローネ等)	
18:30 入浴	
19:30 キャンプファイヤー・花火	
21:30 就寝(テント泊)	
※就寝後リーダー会議を実施	